こおりやま農福連携協議会が生まれたきっかけ

高齢化で農業を担う人が減る一方で、障がいのある方やひきこもり経験者など、働きづらさを抱える人の社会参加や働く場づくりも大切な課題です。そこで農業と福祉が力を合わせる「農福連携」が広がってきました。郡山市でも令和元年からモデル事業が始まり、地域ならではの取り組みが積み重ねられてきました。これまでの経験をもとに、農業の元気と福祉の充実、そして地域の活性化を目指して、令和7年に「こおりやま農福連携協議会」が誕生しました。

農業と福祉の連携を通じて
障がい者らの活躍の場を広げます

こおりやま農福連携協議会イメージ図



こおりやま広域圏とは
郡山市、須賀川市、二本松市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、磐梯町、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町の17市町村で構成される連携中枢都市圏のこと

令和7年4月1日現在

農のチカラ × 福祉のチカラ ＝ 地域のチカラ

つながる

農業者や福祉事業所、行政、企業、地域の人たちが協力し合う場を広げます。
みんなでつながり、支え合うネットワークをつくっていきましょう。




- **交流会**
  活動を知り、協力のきっかけをつくる
- **マルシェ・販売会**
  農作物や加工品を地域に届ける
- **関係機関での意見交換会**
  課題を共有しネットワークを広げる

まなぶ

農福連携に関わる人が活躍できるよう、研修や学びの場を通じて、情報共有や人材育成を進めます。




- **研修会**
  農福連携の知識や技能を学ぶ
- **現場見学・体験学習**
  作業や活動を見学・体験する
- **交流勉強会**
  情報を共有し協力関係を深める

ひろげる

農福連携の活動や情報を多くの人に届けます。
郡山市やこおりやま広域圏の取り組みを、紙やWeb、SNSでわかりやすく発信します。




- **WEB・SNSで情報発信**
  活動やイベントを広く伝える
- **見学会の実施**
  現場を見て体験する機会を提供する
- **イベント・フェアに参加**
  活動を紹介し交流を促進する

いかす

農福連携を通じて地域の元気を育み、新しい仕事や課題解決につなげます。
ネットワークを活かして、農福連携を支える新しい取り組みや仕事の創出も進めます。




- **共同作業・就労の場づくり**
  障がい者等の働く場を創出する
- **地域振興プロジェクト**
  地域課題を解決し活性化に貢献する
- **新しい仕事・事業の創出**
  農福連携を支える新事業を生み出す